PATEK PHILIPPE
GENEVE

パテック フィリップ ジュネーブ
Watches & Wonders Geneva 2023
2023年3月27日

パテック フィリップ、革新的な技術的および美的特徴を備えた17点の新しいタイムピース・モデルを発表し、広範なコレクションをさらに充実

《Watches & Wonders Geneva 2023》の開催に際し、ジュネーブのマニュファクチュール パテック フィリップは、独自性溢れる24時間表示と第2タイムゾーンを表示するトラベルタイム機構を備えたカラトラバ、グランドマスター・チャイムの新しいハイジュエリー・バージョン、《コンテンポラリー・カジュアル・シック》で名高い婦人用アクアノート・ルーチェ初の年次カレンダーなど、幅広いレパートリーのニューモデルを発表する。いずれも技術的な熟練と創造性を称える新しいヴィンテージといえよう。

当社のブランド哲学をテーマとする最近の広告キャンペーンの中で「パテック フィリップがこれほど多くの異なるコレクションを擁しているのはなぜか?」という問いに対し、家族経営のマニュファクチュール パテック フィリップのティエリー・スターン社長は「各々のコレクションが独自の性格を持ち、それぞれが独自の方法で当社の革新と自己表現を可能にするからです。」と語っている。グランド・コンプリケーションからエレガントなカジュアル・モデル、さらに時計デザインを象徴するに至ったものまで、パテック フィリップは、あらゆる市場セグメントで紳士用・婦人用タイムピースの広範なレパートリーを擁している。時と共に、マニュファクチュール パテック フィリップは、少量のシリーズにより製作される約150モデルのバランスの取れた進化を維持するために細心の配慮を注いでいる。《Watches & Wonders Geneva 2023》で発表される17点の新作は、その完璧な実例といえるだろう。

パテック フィリップの象徴的なグランド・コンプリケーション、チャイム・ウォッチにおける5つの洗練された新しい顔

1839年の創業以来、パテック フィリップは、チャイム・ウォッチにおける最も偉大なスペシャリストのひとつとしてその名を知られてきた。2014年、20の複雑機能を擁するパテック フィリップの最も複雑な腕時計、パテック フィリップ・グランドマスター・チャイムがリミテッド・エディションとして発表されたことにより、この分野における当社の至高の技術が改めて立証された。2016年に現行コレクションに加わったこのタイムピースは、設定した時刻になるとこれを知らせるチャイムによるアラーム、今日の日付を希望によりチャイムで知らせるデイトリピーターを含む5つのチャイム・モードで特に注目に値する。

マニュファクチュール パテック フィリップは、特許取得の反転機構を備えたダブルフェース・リバーシブル・ケースのデザインを再解釈し、初めてホワイトゴールドとローズゴールドを組み合わせた《2トーン》バージョンを発表する。この新しいパテック フィリップ・グランドマスター・チャイム6300GR-001モデルは、2つのブラウン・オパーリン文字盤、前面文字盤（時刻表示）に施された手仕上げのギヨシェ装飾による《クルー・ド・パリ》(ホブネイル）モチーフ、およびホワイトゴールド＆ローズゴールドの折り畳み式バックルを装着した2トーンのパティナ・ダークチェストナット・アリゲーター・バンドによっても際立っている。

Chemin du Pont-du-Centenaire 141 – CH - 1228 Plan-les-Ouates
Mail address: P.O. Box 2654 – CH - 1211 Geneva 2
Tel. + 41 22 884 20 20 – Fax + 41 22 884 25 47 – www.patek.com

2022年、パテック フィリップはグランドマスター・チャイムの完璧な機械的性能を際立たせる、バゲットカット・ダイヤモンド（6300/400G-001モデル）、およびバゲットカットのダイヤモンドとブルーサファイヤ（6300/401G-001モデル）をセッティングした2つのジュエリー・バージョンを発表した。今回、マニュファクチュール パテック フィリップは高級時計製作とハイジュエリーの新たな組合せを実現し、見事な《インビジブル・セッティング》技術により、118個のバゲットカット・エメラルド（7.87カラット）と291個のバゲットカット・ダイヤモンド（20.54カラット）がセッティングされたニューモデル、パテック フィリップ・グランドマスター・チャイム・ハイジュエリー 6300/403G-001モデルを発表する。このタイムピースは2つのエボニーブラック・オパーリン文字盤を備え、前面文字盤（時刻表示）には手仕上げのギヨシェ装飾による《クルー・ド・パリ》(ホブネイル）モチーフが施され、エメラルドグリーンのステッチを配したブリリアント・ブラック・アリゲーター・バンドが装着されている。

2017年に発表された、チャイム・ウォッチの今ひとつの傑作である5316モデルは、ミニット・リピーター、トゥールビヨン、レトログラード日付表示針付永久カレンダー、ムーンフェイズ表示を統合している。パテック フィリップは、プラチナ仕様の新しいグランド・コンプリケーション5316/50P-001モデルにユニークで新しいモダンな魅力を与えている。外周に向かって濃くなるブラック・グラデーションのメタリックブルー・サファイヤクリスタル文字盤は、そのデリケートな透明さにより、時計の機械的な心臓部を垣間見せる。

マニュファクチュール パテック フィリップは、現行コレクションとしては最大の規模を誇るミニット・リピーター腕時計のレパートリーをさらに充実させ、希少なハンドクラフトのカテゴリーで再解釈を加えた2点のタイムピースを発表する。希少なハンドクラフトによるワールドタイム・ミニット・リピーター 5531G-001モデル（常に現地時刻を音で知らせる最初のミニット・リピーター）は、ワールドタイム・ミニット・リピーターとしては最初のホワイトゴールド・モデルでもある。文字盤センターは、今日もレマン湖上を航行する著名な蒸気船のひとつを描いた、クロワゾネ本七宝の新しいシーンで飾られている。今ひとつのニューモデル、希少なハンドクラフトによる自動巻ミニット・リピーター 5178G-012モデルは、《カセドラル・ゴング》を搭載し、後者の音色はとりわけ深く豊かである。特徴的な手仕上げギヨシェ装飾の渦巻模様の上に本青七宝を施した、新しいフランケ七宝の文字盤を備えている。

新しいコンプリケーテッド・モデルとデザインがリニューアルされたカラトラバ・コレクション

洗練されたラウンド型ケースと控え目なスタイルのカラトラバ・コレクション（1932年発表）は、時を超越したエレガンスの象徴として知られている。パテック フィリップは、長年にわたりトラベルタイム・デュアル・タイムゾーン機能やウィークリー・カレンダーなど、日常生活で有用なさまざまなコンプリケーションをこの広大なファミリーに加えてきた。マニュファクチュール パテック フィリップは今回、トラベルタイム・デュアル・タイムゾーンと独自性溢れる24時間表示を組み合わせた新しいカラトラバ5224R-001モデルにより、トラベル・ウォッチのレパートリーを広げる。新しい自動巻ムーブメント、キャリバー 31-260 PS FUS 24Hは、リュウズにより現地時刻を調整する特許取得のシステムによっても際立っている。ローズゴールド・ケースに収められ、これとマッチする複雑な仕上げのタッチで装飾されたブルーの文字盤には、すべてローズゴールドの数字、アワーマーカー、カボションの5分マーカーが手作業でひとつずつ植字されている。

2015年以来、1930年代にパテック フィリップにより創作されたアヴィエーター向けの時計からインスピレー

ションを得たパイロット・スタイルのタイムピースは、マニュファクチュール パテック フィリップのコレクションにおいて際立った地位を占め、デュアル・タイムゾーン機構を備えたカラトラバ・パイロット・トラベルタイムのいくつかのバージョン、および24時間表示アラームを搭載したグランド・コンプリケーション・モデルが誕生した。パテック フィリップは今回、オリジナルで一目でそれと分かる造形美で知られるこの独自性溢れるラインに、最初のクロノグラフ・モデルを2点、ラインナップする。カラトラバ・パイロット・トラベルタイム・クロノグラフ5924G-001モデルはブルーグレー・ソレイユ文字盤にグレイン仕上げネイビーブルーのカーフスキン・バンドを配し、カラトラバ・パイロット・トラベルタイム・クロノグラフ5924G-010モデルは、ラック・カーキグリーンの文字盤にヴィンテージ仕上げオリーブグリーンのカーフスキン・バンドを組み合わせている。自動巻ムーブメント、キャリバー CH 28-520 C FUSを搭載したこの2つのニューモデルは、フライバック・クロノグラフ、トラベルタイム・デュアル・タイムゾーン機能、および現地の日付指針表示という、実用的でユーザーフレンドリーな3つのコンプリケーションを統合している。

パテック フィリップの現行コレクションに加わる他のニューモデルには、モダンでグラフィックなスタイルを特徴とするカラトラバ6007G-001、6007G-010、および6007G-011モデルが含まれる。エボニーブラック文字盤には3種類の仕上げが際立ち、センターには《カーボン》エンボス・パターンが施されている。ダイナミックなデザインは、文字盤とバンドの配色によってさらに高められている。カラーは、6007G-001モデルがイエロー、6007G-010モデルがレッド、6007G-011モデルがスカイブルーとなっている。ホワイトゴールド・ケースには、日付表示とストップ・セコンド機能を備えた自動巻ムーブメント、キャリバー 26-330 S Cが収められている。

パテック フィリップはまた、新しい自動巻カラトラバ4997/200R-001モデルにより、婦人用のエレガントなタイムピースのレパートリーを充実させる。偉大なクラシックを再解釈したこの新作は、ローズゴールド・ケース、およびパープルで装われた文字盤とバンドが目を惹きつける。同心円状の波形エンボス模様の施された文字盤には、半透明なパープルのラック塗装が50層以上も施され、魅力的な奥行きある効果を生み出している。ダイヤモンド・ベゼルで装飾されたケースには超薄型自動巻ムーブメント、キャリバー 240が収められている。

アクアノートおよびアクアノート・ルーチェの新しい機能と新しい顔

パテック フィリップは、ノーチラス（1976年）とアクアノート（1997年）という象徴的な地位を確立した2つのモデルを創作することにより、カジュアル・エレガンスの領域でその名を知られてきた。2004年、婦人用アクアノート・ルーチェ・ラインの発表により、アクアノートのレパートリーはさらにひろがった。2021年にトラベルタイム・デュアル・タイムゾーン・モデル、続いて2022年に自動巻クロノグラフ・バージョンが導入された後、アクアノート・ルーチェは今回、新しい有用で使いやすいコンプリケーションである特許取得の年次カレンダーを搭載する。ブルーグレーの文字盤とバンドで飾られたこのローズゴールド仕様のアクアノート・ルーチェ年次カレンダー 5261R-001モデルは、婦人用コンプリケーテッド・ウォッチのレパートリーを、新たにジュエリーのないモデルにより強化する。

新しい婦人用自動巻アクアノート・ルーチェ 5268/200R-010モデルは、ローズゴールド・ケースに、ブラウンとグレーの間の温かみのある《トープ》カラーの文字盤と統合されたバンドを組み合わせ、このモデルの《コンテンポラリー・カジュアル・シック》なスタイルと完璧なハーモニーをなしている。特徴ある丸みを帯びた8角形ベゼルは、48個のダイヤモンド（1.17カラット）によって輝きを与えられている。12気圧防水のケースには、

ストップ・セコンドを備えた自動巻ムーブメント、キャリバー 26-330 S Cが搭載されている。

紳士用自動巻アクアノート・クロノグラフは、ステンレススチールおよびホワイトゴールド仕様のモデルが既にラインナップされているが、今回、外周に向かって濃くなるブラック・グラデーションのブラウン・ソレイユ文字盤と、これにマッチするコンポジット・バンドを備えた、ローズゴールド仕様の新しいアクアノート・クロノグラフ5968R-001モデルが登場した。

テクニカル・モデルからジュエリー・タイムピースまで

紳士用コンプリケーテッド・ウォッチのセグメントでは、ローズゴールド・ケースにブルー・ソレイユ文字盤を配した年次カレンダー搭載自動巻フライバック・クロノグラフ5905R-010モデルが、2つの追い求められるパテック フィリップ・コンプリケーションを搭載したこのタイムピースに新しい顔を与える。

アール・デコ様式からインスピレーションを得たパテック フィリップの《フォルム・ウォッチ》(ラウンド型以外の時計）に属するゴンドーロ・コレクションには、ユニークなスタイルと時を超越したエレガンスを誇るジュエリー・ウォッチのニューモデルが登場する。ローズゴールド仕様のゴンドーロ・セラータ4962/200R-001モデルは、スペサルタイトをダブル・カラー・グラデーションによりセッティングし、ケースの繊細な曲線を際立たせている。ラック・ブラウンの文字盤は、仕上げにコントラストを持たせた花のモチーフで飾られている。

希少なハンドクラフトの多彩なコレクション

昨年までと同様、今年もパテック フィリップはユニークピースまたは限定製作の見事な希少なハンドクラフト・コレクション（ドーム・テーブルクロック、テーブルクロック、懐中時計および腕時計）を発表し、七宝細密画、クロワゾネ本七宝、手彫金、木象嵌など、最も希少で洗練された技術による芸術工芸品を発表する。これら64点の作品を展示する《希少なハンドクラフト2023》は、2023年4月1日から15日まで、ジュネーブのパテック フィリップ・サロンにおいて一般公開される。